

# 令和7年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

## 可児市青少年育成市民会議

可児市青少年育成市民会議は青少年健全育成基本方針において、青少年を育む地域活動の活性化と社会参加の促進、あたたかさと厳しさを持つ家庭づくり・地域づくり、困難を抱える青少年への支援と社会環境の整備を三つの基本目標とし、活動を行っています。

### 1. 青少年育成推進員研修会

令和7年5月24日(土)に、可児市福祉センターにおいて、市内11地区より選出されたすべての推進員が対象となる青少年育成推進員研修会を開催しました。全体会では、可児市青少年育成推進委員長による主旨説明後、令和7年度代表4地区による実践発表を行いました。分科会では4つの専門部会がそれぞれの活動について、熱心に協議を行いました。また、当日は青少年育成功労者の表彰も併せて実施しました。



### 2. 少年の主張可児市大会

令和7年6月14日(土)に、可児市文化創造センター主劇場において、少年の主張可児市大会を開催しました。市内の中学校6校から選出された12名の代表者が、日常生活の中で感じている思いや考えを、自分自身の言葉で真摯に力強く主張しました。

審査の結果、「多文化共生のまちを目指して」という題名で発表した可児市中部中学校2年生 伊賀井 零さんが最優秀賞を受賞しました。



アトラクションでは、可児市立広陵中学校吹奏楽部のみなさんの素晴らしい演奏が、大いに盛り上げていただきました。15名の中学生ボランティアが運営に携わってくださり、その活躍する姿に来場者から高評価をいただきました。また、当日は善行少年の表彰も併せて実施しました。

### 3. 可児市青少年育成シンポジウム

令和7年11月15日(土)に、可児市文化創造センター主劇場において、可児市青少年育成シンポジウムを開催しました。講師に一般社団法人ソーシャルメディア研修会 チーフ技術指導員 竹内義博氏を迎え、「スマホ・ネットの現状と対策～子どもたちをネットの被害者にも加害者にもさせないために～」という演題でお話いただきました。ネットの存在は、車とよく似ています。使用者が危険利用すると人の命を奪ってしまうこともあります。どこが危なくて、どうしたら危険か「正しく怖がって、賢く使う」ことが大切。ネット問題の答えはネットの中にはなく、子育てと同様、子どもに丁寧に寄り添い、話し合うことを通して、子どもが安心できる居場所を作ってあげる事が大切。など他にも多くのアドバイスをいただきました。

また、当日は「わが家の宝物」作文・標語優秀作品表彰、優秀作文発表、「家庭の日」啓発図画・ポスター県入選者表彰も併せて実施しました。



### 4. 街頭啓発

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」では7月6日(日)に、「秋のこどもまんなか月間」では11月2日(日)に市内大型店舗や、地区センターまつり会場においてMSリーダーズの協力もいただき、啓発グッズの配布など青少年の健全育成の街頭啓発を実施しました。



このほか、「家庭のぬくもり」作品展を、令和8年1月9日(金)から1月21日(水)まで、可児市広見地区センターにおいて開催しました。展示されたのは、「家庭の日」啓発図画・ポスターの作品50点「わが家の宝物」作文・標語の入賞作品67点です。いずれの作品からも、それぞれに家庭の心温まる家族のふれあいが伝わってきました。